

<「新長崎トンネル（東）他」工事が竣工しました（令和3年6月30日）>

長崎市内において、平成25年3月1日より進められていました「新長崎トンネル（東）他」工事（受注者：鴻池・日本国土・西部・竹下JV）が、令和3年6月30日に竣工しました。

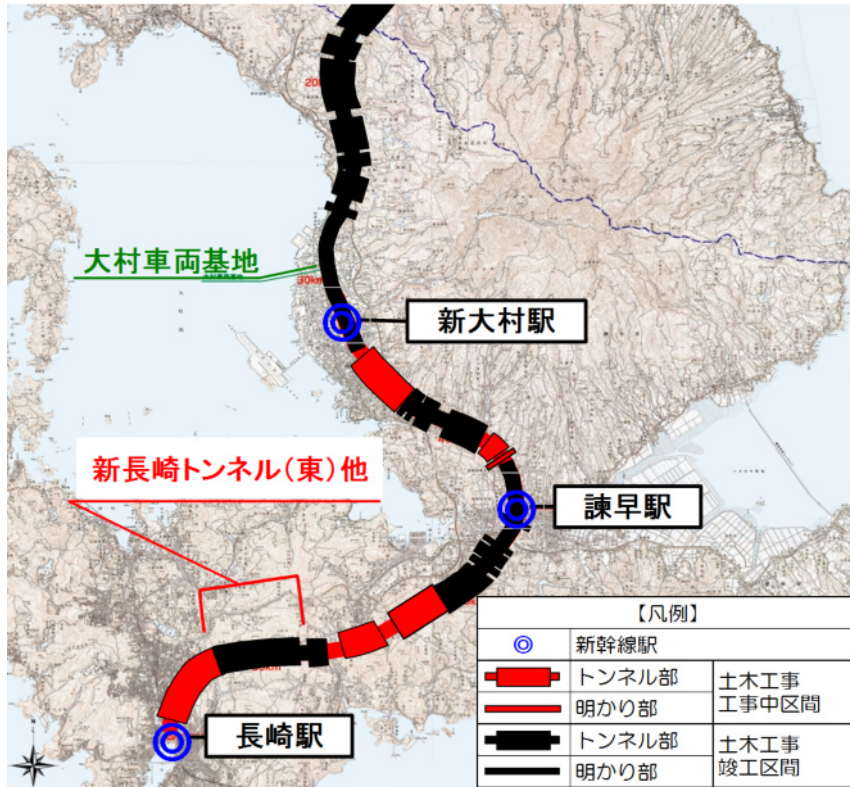
この工事では、工事長4,015m間で、西九州新幹線（長崎～武雄温泉）で最も長いトンネルである、延長7,460mの新長崎トンネルを東西二つに分けた東側3,885m部分と、隣接する平間トンネルとの間の路盤や橋りょう、保守用斜路の施工が行われました。

本トンネルは施工延長が長いため、掘削した残土の搬出をダンプトラックで行うと、多くの台数がトンネル内を行き来することになり、他の作業の妨げとなって不効率となるだけでなく、コスト的にも不経済となることから、900m掘り進んだところからベルトコンベアによる搬出に切り替えられ、効率的・経済的に施工が行われました。

また、地上に水が集まる沢地形が多く存在するため、掘削時には大量の湧水が発生し、掘削箇所が崩落する懸念がありました。

そのため、掘削前に進路方向に向かって直径13cm程の穴をあけ水を排水し（「水抜きボーリング」と言います。）、山に含まれる水の量を減少させ、掘削時の崩落リスクを低下させる対策がとられました。長いもので150mの水抜きボーリングが行われています。

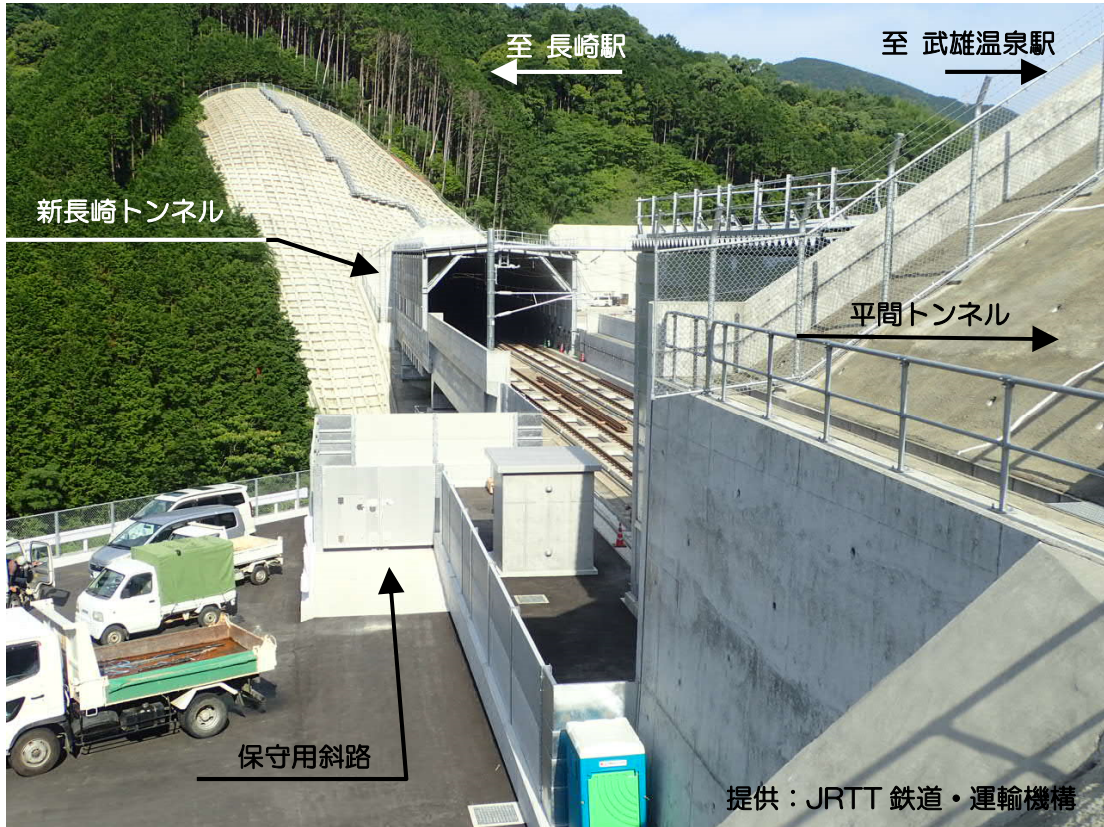
この工事の竣工により、長崎県内の主要な土木工事40工事のうち31工事が竣工したこととなりました。



位置図



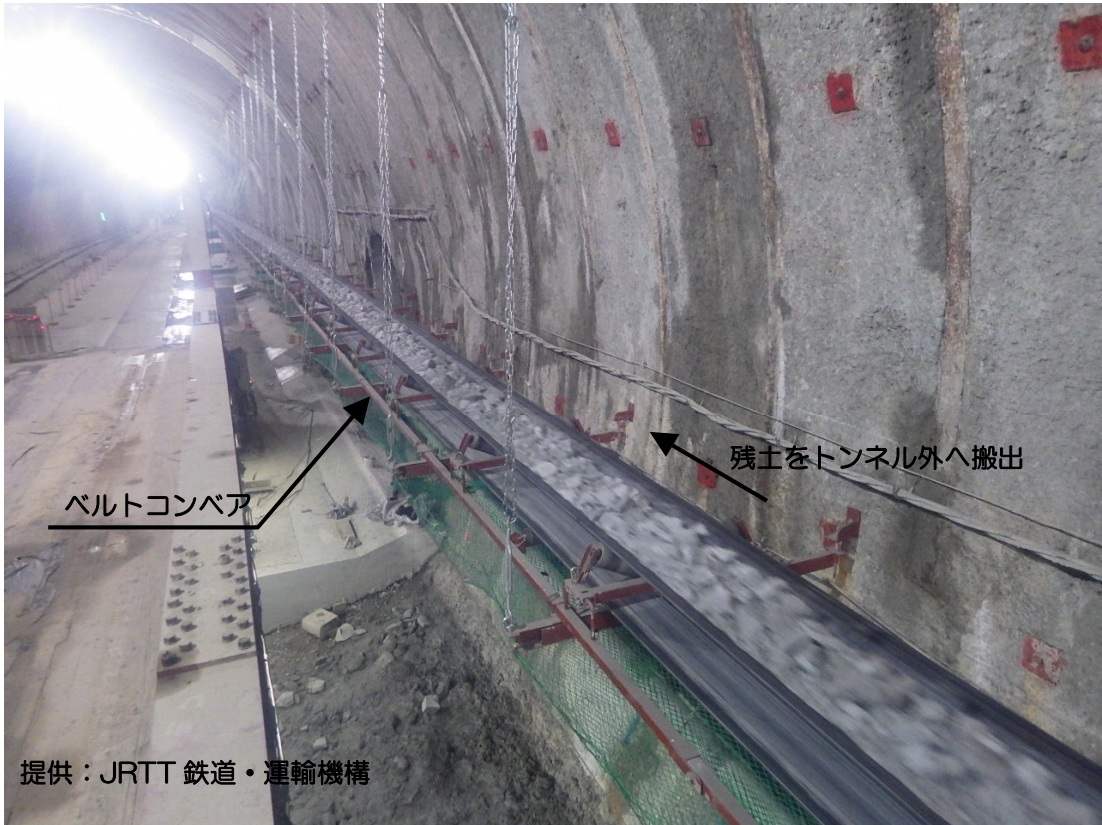
完成した新長崎トンネル坑口付近（東側）



新長崎トンネルと平間トンネルの間



完成した新長崎トンネルの入口（東側）



ベルトコンベアによる残土搬出状況



水抜きボーリング施工状況